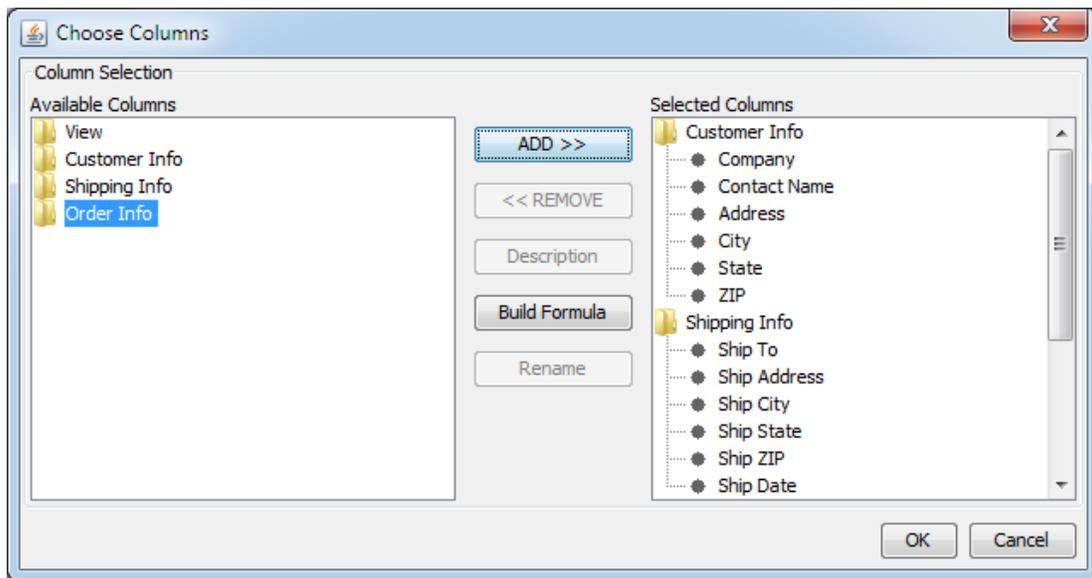


実習 11: クエリデータビュー

この実習では、実習 10 で作成したデータビューに対してクエリを作成、実行します。

ステップ 1: フィールドの選択

- 1.) データソースマネージャーで、実習 10 で作成したビューを選択し、「VIEW」をクリックします。データビューからフィールドを選択するダイアログが表示されます。見出しを拡張し、フィールドを選択することができますので、ビューから全てのフィールドを選択してください。

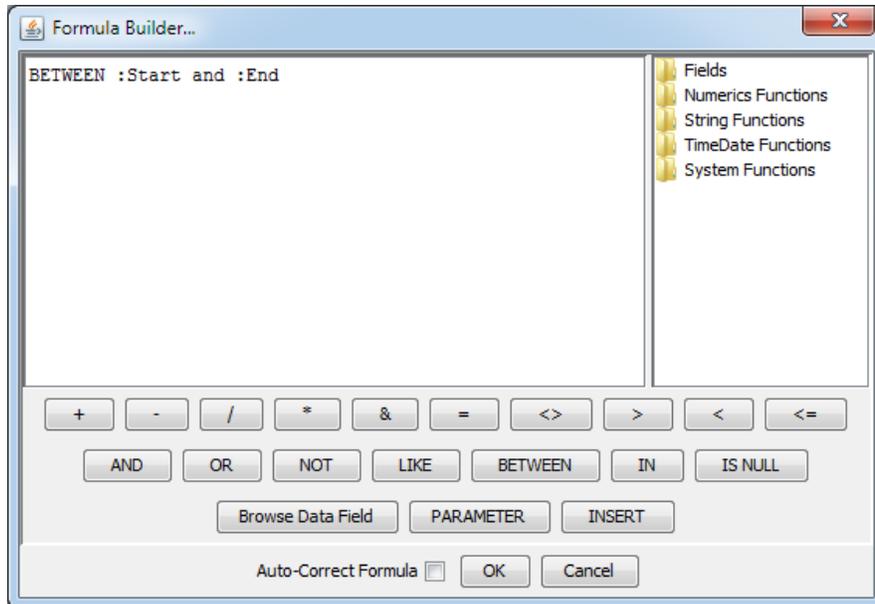


- 2.) 「OK」をクリックしますと、選択したフィールドに条件を設定するウィンドウが表示されます。「Order Date」コラムの下にある「Condition」フィールドを右クリックします。表示されたポップアップメニューから「Build」を選択しますと、クエリビルダーに似たフォーミュラービルダーが起動します。

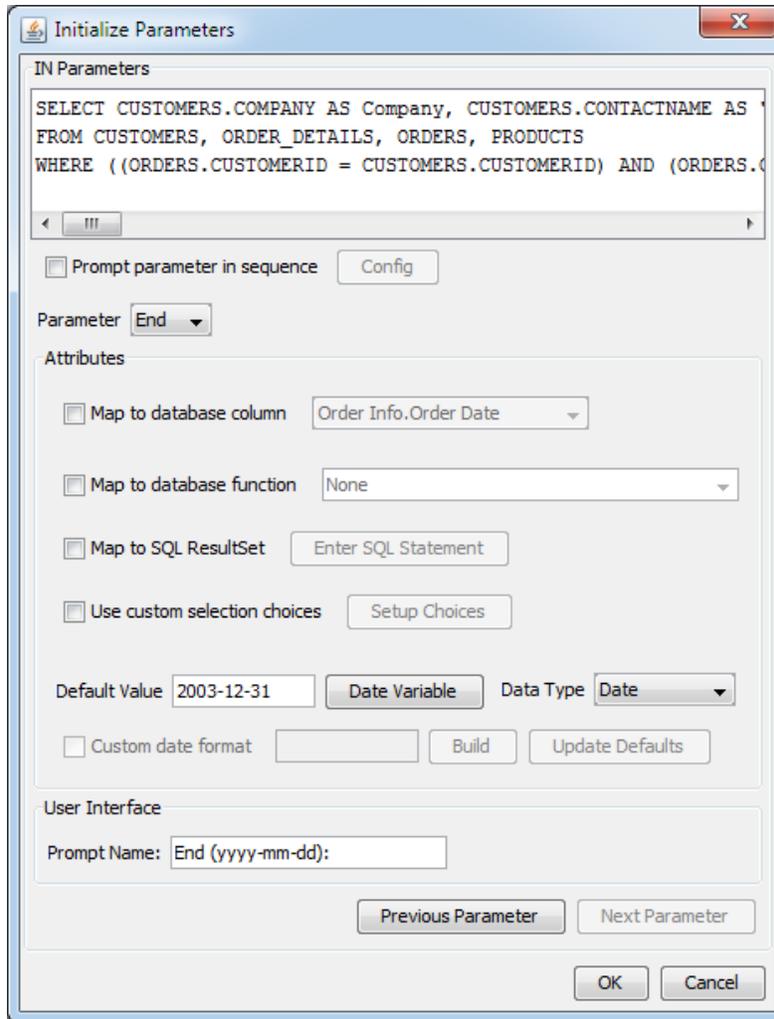
ステップ 2: パラメータの追加

- 1.) フォーミュラービルダーで、「Between」をクリックし、その後「Parameter」をクリックします。表示されるダイアログにパラメータ名を「Start」と入力し、「Parameter」を再びクリックします。2 番目のパラメータ名を「End」と入力します。条件は次のように表示されます。

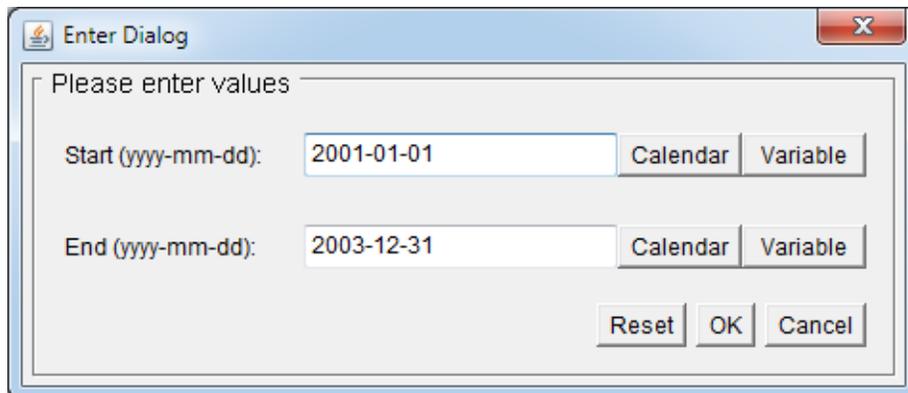
```
BETWEEN :Start and :End
```



- 2.) 「OK」をクリックし、フォーミュラービルダーを閉じます。オプションメニューから「Initialize Parameter's」を選択します。これにより初期化ダイアログが起動します。
- 3.) 初期化ダイアログで、**Start** パラメータをデータベースコラムに対応付けせずに、代わりに「**Date**」を選択し、初期値として"2003-01-01"を入力します。「Prompt Name」を"Start (yyyy-mm-dd):"に変更します。
- 4.) 「Next Parameter」をクリックし、**End** パラメータを設定します。同様にコラムに対応付けせず、初期値を"2003-12-31"に設定し、「Prompt Name」を"End (yyyy-mm-dd):"に変更します。

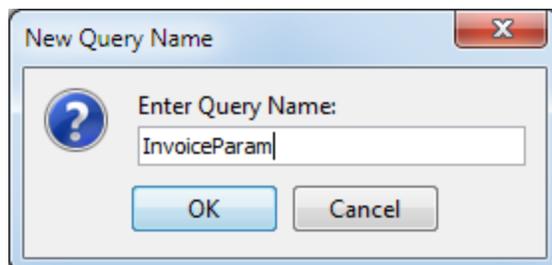


- 5.) 「OK」をクリックし、パラメータ設定を保存、「Datasheet View」タブをクリックしクエリのプレビューを表示します。ポップアップしたパラメータのダイアログにドロップダウンリストが表示されませんが、代わりにユーザーが直接入力するか、カレンダーから選択することができます。



ステップ 3: クエリの保存

- 1.) 「Design View」タブに戻り、オプションメニューから「Save Query」を選択します。クエリ名を” InvoiceParam” と入力し、「OK」をクリックします。



- 2.) 「OK」をクリックしますとレポートやチャートにクエリを使用した結果を表示するウィンドウが開きます。「Cancel」をクリックしインターフェイスを閉じ、データソースマネージャーに戻ります。ノードに” Invoicing” クエリが新たに追加されています。

